

【技術分類】 1 - 4 - 1 インプラント治療 / アバットメント / アバットメント

【技術名称】 1 - 4 - 1 - 1 アバットメント

【技術内容】

インプラント治療において、上部構造（人工歯冠）を装着するために、インプラント（人工歯根）の上部に連結される人工支台のことをアバットメントと言う。

アバットメントの材質は、純チタンやチタン合金製のものが多い。最近、酸化ジルコニウム（ジルコニア）などセラミックス製のアバットメントが審美性の要求に応えるかたちで開発され、普及しつつある。

アバットメントの形状は、上部構造に合わせて様々なものがある。また、インプラントの埋入方向に制限がある場合などに使用されるアバットメントに角度が設定されたものもある。

アバットメントは、鋳造などにより製造される。最近では CAD/CAM 技術を応用して、純チタンや酸化アルミニウム、酸化ジルコニウムなどのセラミックスのインゴットからの削り出しで、希望する形状に仕上げるシステムが普及しつつある。

アバットメントはインプラントの内孔へ挿入され、ネジやクサビにより固定される。

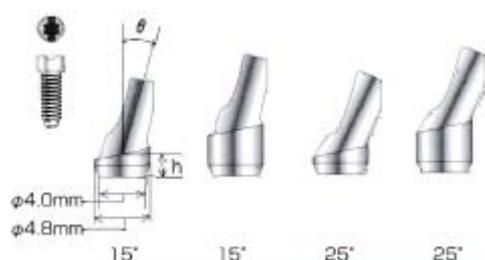
【図】

図 1 インプラントの構成



図 2 (a) 角度が設定されたアバットメント

図 2 (b) その使用法



【出典】

図 1： 刊行物名：「より自然で美しい笑顔のために「インプラントのご案内」（人工歯根治療）」、発行年月日：不明、発行者：株式会社ジーシー、出典箇所：3 ページ

図 2： 刊行物名：「歯科インプラント材 アンゲルカスタムアバットメント（専用リーフレット）」、掲載日：2005 年 2 月 21 日、発行者：株式会社ジーシー、出典箇所：(a) 裏・一番上；(b) 表・下段中央

【参考資料】

刊行物名：「臨床歯科理工学」、発行年月日：2006 年 5 月 25 日、編者名：宮崎 隆、中嶋 裕、河合達志、小田 豊、発行所：医歯薬出版株式会社、参考箇所：280-281 ページ

【技術分類】 1 - 4 - 1 インプラント治療 / アバットメント / アバットメント

【技術名称】 1 - 4 - 1 - 2 ボールアバットメント

【技術内容】

インプラント治療において、既存の可撤式義歯（オーバーデンチャー）をインプラントで固定する際に使用する器具である。ボールアタッチメントともいう。

本体の材質は純チタンやチタン合金製である。形状は先端部が球状雄型であり、可撤式義歯側の球状雌型であるアタッチメントハウジング（アタッチメントフィメールなどともいう）と組み合わせて使用するものである。取り外しが可能な構造である。

ボールアバットメントをインプラントへ装着し、既存の可撤式義歯へハウジングを固定する。咬合状態を確認したのち使用する。

構造および術式が非常にシンプルである。

【図】

図1 ボールアバットメントとハウジング

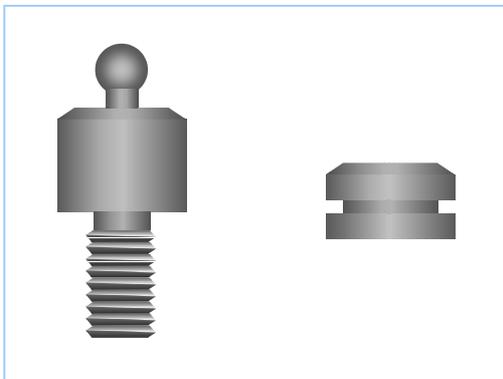
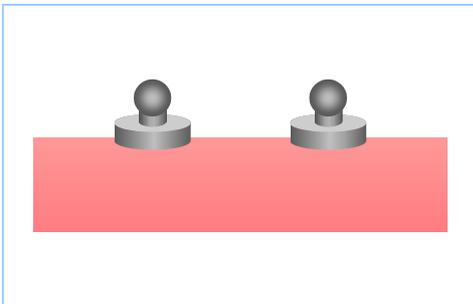


図2 ボールアバットメントの装着



【出典】

出典：本標準技術集のために作成

【参考資料】

刊行物名：「無歯顎患者のための治療法 歯科医師向ガイド（専用カタログ）」、発行年月日：不明、
発行者：ノーベル・バイオケア・ジャパン株式会社、参考箇所：14-16 ページ